

LM住環境新聞

夜間照度を実測しました!



写真1 5m間隔の水平面照度の実測風景



図1 街灯下の水平面照度



図2 5m間隔の水平面照度

平成15年10月5日の18時半からライオンズマンション大宮指扇の敷地内、遊水地公園周辺、マンションから指扇駅までの裏通りの3地点の夜間照度を調査しました。メンバーは研究室から2名、LM大宮指扇住環境研究会(詳しくは裏面)から5名の計7名で行いました。心配だった雨も降らず、無事に調査することができました。そして、街灯下における水平面照度(図1)、マンションから指扇駅までの裏通り道路中央における5m間隔の水平面照度(図2)と鉛直面照度(図3)を実測しました。水平面照度を測る方法は地面すれすれのところ、センサーを水平に保たないと正確に測れないため、写真1のように地面に這いつくように測っていました。もしかしたら学校や会社からの帰り途中で、この様な光景を見た方がいらっしゃるかもしれません。



図3 5m間隔の鉛直面照度

昨年同今年度と同様に水平面照度を調査しましたが、今年の結果と比較すると、若干照度の値が下がっていました。照度基準によると水平面照度は3lx(ルクス)以上、鉛直面照度は0.5lx以上と定められています。遊水地公園を囲む街灯下の照度は20lx以上が多く、公園内の橋を除けば特に問題はないと思われます。しかし、マンションと駅を結ぶ裏通りの5m間隔における水平面照度では約60%が基準値である3lxを満たしていませんでした。また鉛直面照度については今年度初めて計測したのですが、約90%が照度基準を満たしていませんでした。カーブなどの曲がり角や交差点では壁に街灯の光が反射するため、数値が高く出ていました。この結果をもとに、夜間照度に関する住環境グレードアッププラン(住環境をより改善するための行動指針)を作成する予定です。プランの詳細については来年の2月上旬に予定している懇談会にて発表したいと思っています。興味を持たれた方は是非懇談会にご参加下さい。(資料や詳しいデータを希望の方は下記にお問合せ先までご連絡ください。)

第2号
2003.10.28 発行
《製作者》
芝浦工業大学
三浦研究室
4年 仲間剛
4年 水野真吾

「新聞の発行にあたって」
このLM住環境新聞は、住民の皆様に住環境に対する興味を持っていただきたい、また住環境実測調査に参加していただきたいという思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。なお、この新聞は隔月で発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

夜間の歩行者交通量	地域	照度(lx)	
		水平面照度	鉛直面照度
交通量の多い道路	住宅地域	5	1
	商業地域	20	4
交通量の少ない道路	住宅地域	3	0.5
	商業地域	10	2

図4 歩行者に対する道路照明の基準

《お問い合わせ先》

芝浦工業大学
システム工学部 環境システム学科 三浦研究室
〒337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作 307
TEL/FAX 048(687)5832 (月~金 11時~18時)
Email: r00056@sic.shibaura-it.ac.jp
教授: 三浦 昌生
担当学生: 仲間 剛・水野 真吾
http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/

LM大宮指扇住環境研究会です!

今年度はこのメンバーが中心となって進めていきます



自治会前、階段にて (2列目中央:水野 真吾 1列目右:仲間 剛)

寺島 篤(3列目右)
昨年の調査に続き、今回も芝浦工大三浦研究室の生徒さんによる住環境実測調査が行われています。指扇駅からライオンズマンションの通勤路での事故の多発でも分かるように、当マンションの住環境だけではなく、当地域全体の問題として捉え、今回の住環境調査に積極的に取り組み、より良い成果が上がるよう、調査を行う芝浦工大の生徒さんに協力をしていきたいと考えています。

田中 正明(2列目左)
三番館601の田中です。自治会の副会長を任命されているため、渡辺自治会長より住環境研究会の構成員に任命され、住民の皆様の手助けになるならと引き受けました。可能な限り実測調査に参加し、また、会合において、ない知恵を絞って役立つ意見を述べていきたいと思っています。また、住環境は住民皆さんの問題ですので少しでも多くの人達からアンケートの回答が返ってくることを期待しています。

恩田 邦子(2列目右)
このLMは誕生してからはや17年余がたち、マンションの周りの環境、住民の年齢構成もだいぶ変化してきました。入居当初、三番館裏の公園は幼児やお母さん方の声でにぎわっていました。そのお子さん方はすでに成人式を迎えたのでしょうか。住民の考え方・生き方は様々ですが、よりよい環境を望む気持ちには年経ても皆同じだと思います。事実、花壇の多いこのLMは、住環境改善への住民の知恵と努力の成果です。この1年間、LM住環境研究会の一員として精一杯努めますのでよろしくお願ひします。

鈴木 軍次(1列目左)
今年からLM大宮指扇住環境研究会に参加している、1番館の607鈴木と申します。よろしくお願ひいたします。皆様ご存知のとおり、諸官公署への請願や申請にはデータや実績が必要ですが、私達はただ今、芝浦工業大学三浦研究室の学生さんのサポートを得て、住環境のデータを収集しようとしているところです。データの蓄積が終われば、もちろん次のステップということになりますが、多少時間がかかると思います。当研究会の最終まで構成員として在籍できるかどうかは判りませんが、在籍中は努力する所在でありますので、自治会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

磯谷 利昭(3列目左)
委員会を担当する以前は勤め帰りの裏道で「一寸暗いな」「女性にはこの辺は危険だな」、また、西大宮バイパスが開通して「騒音が少し気になるな」「排気ガスはどうなのかな」と多少の関心しかありませんでしたが、昨年の実測データを見て、改めてマンションを取り巻く環境の個々の数値変化に驚いています。今回も実測調査を昨年同様実施し、変化値を掴んで、三浦研究室・委員の皆さんと一緒に少しでも問題値の部分は改善推進できるように「より良いLM住環境造り」のお手伝いをしていきたいと思っています。

渡辺 昭平(1列目中央)
研究会メンバーの一員としてすでに会合を重ねると6回となり、メンバーの住環境に対する思いは一段と増してきており、熱意の表れと大変よろこばしいことと思っています。このマンション内においても照度(明るさ)の足りないと思われるところもあります。また、事件・事故のないマンションにしていくにはどのようなことか、また費用のかかることなどあります。それゆえ、みんなで相談しあい、ことに当マンションには管理組合もありますので、その連携を密にして、よりよい住環境作りに努力していきたいと思う昨今であります。

今後の予定

今後の予定は左の表のようになっていきます。ご協力よろしくお願ひします。また、LM大宮指扇住環境研究会の話し合いは毎月、第2土曜日、第4水曜日の計2回行われ、住環境グレートアッププランの作成に向けて話し合いをしています。

平成 15年	
11月8日~9日	子供会と住環境実測調査
11月19日	騒音実測調査
12月上旬	二酸化窒素濃度実測調査
平成 16年	
1月上旬	アンケート調査
2月上旬	懇談会